

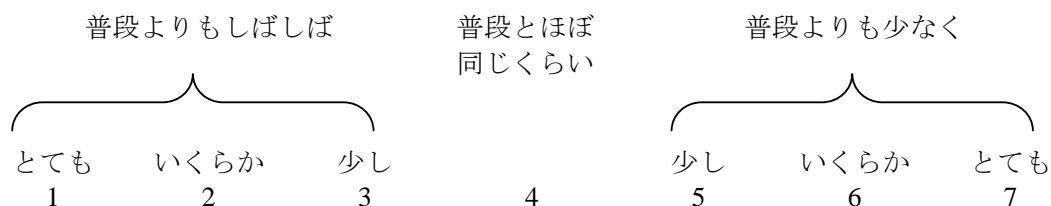
記入日：西暦\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

<h1>K10+</h1>  調査場所: _____ 調査場所 ID:  _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _	対象者 ID:  _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _
	姓: _____
	名: _____
	生年月日: _____ 性別: _____ 西暦____年 男性 <input type="checkbox"/> <sub>1</sub> 女性 <input type="checkbox"/> <sub>2</sub> ____月____日
	住所: _____

次の質問では、**過去 30 日**の間、あなたがどのように感じていたかについておたずねします。それぞれの質問に対して、そういう気持ちをどれくらいの頻度で感じていたか、一番当てはまる番号に○を付けてください。

問 1. 過去 30 日の間にどれくらいしばしば...	いつ も	たい てい	とき どき	少し だけ	全く ない
a. 理由もなく疲れきったように感じましたか	1	2	3	4	5
b. 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
c. どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
d. 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
e. そわそわしたり、落ち着きなく感じましたか	1	2	3	4	5
f. じっと座っておれないほど、落ち着きなく感じましたか	1	2	3	4	5
g. ゆううつに感じましたか	1	2	3	4	5
h. 気分が沈みこんで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
i. 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
j. 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 2. 問 1 の 10 個の質問は、過去 30 日の間に起こったかもしれない気持ちについての  
ものでした。全部ひっくるめて、これらの気持ちは、過去 30 日の間には、普段のあなた  
よりもしばしば感じられたのでしょうか。普段と同じくらい感じられたのでしょうか。  
それとも、普段よりも少なく感じられたのでしょうか。(もし、これらの気持ちが全然  
なかったならば、「4」に○を付けてください)



次の質問では、これらの気持ちが過去 30 日の間にどれくらいあなたに影響を及ぼした  
かについておたずねします。問 1 の 10 個の質問のすべてに「全くない」と答えられた  
場合は、以下の質問にお答えいただく必要はありません。

問 3. 過去 30 日のうち、これらの気持ちのために、まったく働くことができなかつた  
り、普段の活動を行うことができなかつた日は、何日ありましたか。

\_\_\_\_\_日間

問 4. 問 3 で答えた日数を除外して、過去 30 日のうち、これらの気持ちのために、普  
通だったらできたであろう事の半分かそれ以下しかできなかつた日は、何日ありまし  
たか。

\_\_\_\_\_日間

問 5. 過去 30 日の間に、これらの気持ちについて何度、医者やそれ以外の医療の専門  
家を受診しましたか。

\_\_\_\_\_回

問 6. 過去 30 日の間にこれらの気持ちの原因が、主に、身体的な健康上の問題だった  
ことはどれくらいありましたか。

いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
1	2	3	4	5

どうもありがとうございました。

© World Health Organization 2007

All rights reserved. Based on the Composite International Diagnostic Interview © 2001 World Health Organization. All rights reserved. Used with permission. Requests for permission to reproduce or translate—whether for sale or for noncommercial distribution—should be addressed to Professor Ronald Kessler, PhD, Department of Health Care Policy, Harvard Medical School, (fax: +011 617-432-3588; email: ronkadm@hcp.med.harvard.edu).

### **Acknowledgements**

Translation of this document was performed on behalf of the World Health Organization Composite International Diagnostic Interview Advisory Committee by Toshiaki Furukawa, MD, PhD, of Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Japan, Norito Kawakami, MD, DMSc, of the Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Japan, and Yoshiharu Kim, MD, PhD, of the National Institute of Mental Health: National Center of Neurology and Psychiatry, Japan.